

## 第98回国立大学法人筑波技術大学経営協議会議事録

I 日 時 令和5年3月16日（木）14時00分～16時50分

II 場 所 大会議室、オンライン（Zoom）

### III 出席者

- ・学外委員：大熊由紀子、川村恒明、北原保雄、齋藤佐和、藤島省太、竹下義樹、中村信一、森戸久雄、山岸直人の各委員
- ・学内委員：石原保志（議長）、酒井貢、四日市章、内藤一郎、坂尻正次、谷貴幸、加藤一夫、三好茂樹の各委員

#### 欠席者

- ・学外委員：荒川早月、石井靖乃、石野富志三郎、小林武弘の各委員
- ・学内委員：長島一道委員

#### 陪席者

- ・大島慎子監事、竹内啓博監事
- ・【4 意見交換のみ陪席】香田泰子教授、伊藤和之教授、河野教授、白澤教授、河原准教授、宮城准教授、田中講師、後藤助教、嶋助教

### IV 議 事

#### 1 前回議事録の確認について

議長から資料1により、第97回の議事録について説明があり、案のとおり確認された。

#### 2 審議事項

##### (1) 令和5年度筑波技術大学予算（案）について

事務局から、資料2-1～3に基づき、令和5年度筑波技術大学予算（案）について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

#### (主な意見)

- 「成果を中心とする実績状況に基づく配分額」について、減額評価となっている項目を中心として少しでも増額となるよう、教職員が一丸となって努力を重ねてほしい。

##### (2) 令和5年度資金運用計画について

事務局から、資料3-1～2に基づき、令和5年度資金運用計画について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

#### (主な意見)

- 資金運用益は貴重な収入源である。少しでも良い利率で運用できるよう、他大学の状況を調べてはどうか。

(3) 人事・給与関係規則等の一部改正について

事務局から、資料4-1～18に基づき、人事・給与関係規則等の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(4) 国立大学法人筑波技術大会計規程の一部改正について

事務局から、資料5-1～2に基づき、国立大学法人筑波技術大会計規程の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(5) 旅費支出に関する法人カードの利用許可及び旅費算定の変更に伴う関連規程等の改正について

事務局から、資料6-1～5に基づき、旅費支出に関する法人カードの利用許可及び旅費算定の変更に伴う関連規程等の改正について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(6) その他

特になし。

### 3 報告事項

(1) 令和5年度大学執行部体制等について

学長から、資料7に基づき、令和5年度大学執行部体制等について報告があった。

(2) 東京管区气象台、水戸地方气象台との連携協定の締結について

学長及び谷委員から、資料8-1～2に基づき、東京管区气象台、水戸地方气象台との連携協定の締結について報告があった。

(主な意見)

○社会的に意義のある連携なので、この連携による成果が本学と両气象台に留まらず、各自治体に行きわたるよう、3機関で協議していただければと思う。

○地方自治体では地域防災計画が策定されているため、本学が東京管区气象台及び水戸地方气象台との連携を締結したという事実を県の防災担当に情報提供してはどうか。

(3) 令和5年度入学者選抜実施状況（学部・大学院）について

事務局から、資料9-1～2に基づき、令和5年度入学者選抜実施状況（学部・大学院）について報告があった。

(4) 令和5年度入学者選抜欠員補充2次募集について

事務局から、資料10-1～3に基づき、令和5年度入学者選抜欠員補充2次募集について報告があった。

(5) 令和4年度卒業者・修了者について

事務局から、資料11-1～2に基づき、令和4年度卒業者・修了者について報告があった。

(6) 令和4年度教員免許状一括申請にかかる報告について

事務局から、資料12に基づき、令和4年度教員免許状一括申請にかかる報告について報告があった。

(7) その他

学長から、机上配布資料に基づき、2025年デフリンピックエンブレム制作に係る協定の締結について報告があった。

#### 4 意見交換

(1) 新たな学位プログラムの準備状況について

学長、谷委員及び香田教授から、資料13-1～5に基づき、新たな学位プログラムについて説明があり、意見交換を行った結果、学外委員から出された意見を参考として更に検討を進めることとなった。

(主な意見)

- 資料13-3の「組織整備を行う必然性・必要性」について、障害者に関わる社会動向が記載されているが、他にも法制度等が行われているので、網羅的に記載してはどうか。
- 令和7年4月に新学部を設置することだが、入学定員、カリキュラム、教員配置等、はっきり示されていない部分が少なくないので、次回の会議ではどのようなスケジュール感で本構想を進めていくのか、工程表を示してほしい。
- 新学部では文理融合教育を行うとのことだが、学生には基盤となる専門性が必要である。現在のカリキュラムではこういった専門性が身に付くのか、分かりづらい部分があるので、もっと具体的に示してほしい
- 新学部の設置により、既存の学部にも少なからず影響が出てくる。新学部の設置構想と併せて、既存の学部をどうするのか、次回の会議では示してほしい。

以上